

議 事 録

会議名		釧路市障がい者自立支援協議会 第5回相談支援部会
事務局		釧路市障がい福祉課 釧路市障がい者基幹相談支援センター
開催日時		令和4年2月21日(月) 15:00～16:30
開催場所		Zoom ミーティングによるオンライン開催
出席者	部会員	参加者:25名 欠席:3名 佐々木部会長(ソーシャルカフェ)、西副部会長(つばさ)、山本副部会長(KCマヴィ)、橘(ハート釧路)、吉川(自立センター)、平間(あいけあ)、原田・山口・大木・大友(いんくる)、久保(児童発達支援センター)、葛野(のとお)、宮崎(ケアサポくしろ)、長田(あ〜かす)、鎌田(鶴が丘)、芦田(クローバー)、武田・加藤(サハス)、森山(にじ)、宮田(らぽーる)、岸・木村・八巻・稲澤(ソラ)、櫛部(くらしごと) (敬称略)
	その他	なし
	傍聴者	なし
	事務局	出席6名 障がい福祉課:田仲主査、豊巻主事、若園主事 釧路市障がい者基幹相談支援センター:竹内、金子、近藤
会議次第		<p>開会</p> <p>1. 挨拶 釧路市障がい者自立支援協議会相談支援部会長 佐々木 寛</p> <p>2. 議事</p> <p>(1)報告事項</p> <p>①障がい児の障がい福祉サービス更新について</p> <p>②地域生活支援拠点等整備事業の進捗状況について</p> <p>③基幹相談支援センター事業所訪問について</p> <p>(2)協議事項</p> <p>役員改選について(グループワーク)</p> <p>(3)その他</p> <p>相談支援事業所あいけあより事業所閉鎖について</p> <p>3. 閉会</p>

議 事 内 容

1. 挨拶

釧路市障がい者自立支援協議会相談支援部会長 佐々木 寛

2. 議事

進行: 基幹相談支援センター 近藤

(1)報告事項

① 障がい児の障害福祉サービスの更新について

・障がい児サービス更新の進捗状況とお願いについて

今年度の更新案内発送件数は約 900 件、前年比約 100 件増である。更新書類の提出状況は 88%を超えており、昨年よりも速いペース。部会員が来庁した際には、未提出者をお知らせし、提出の声掛けをお願いしている。サービス等利用計画案の提出期限は3/7(月)と設定しているが、随時受け付けているので、提出をお願いしたい。

・質問等がある事業所については、個別に障がい福祉課へ問い合わせを依頼。

②地域生活支援拠点等整備事業の進捗状況について

・資料 1「令和 3 年度 釧路市障がい者地域生活支援拠点等事業の報告について」を説明。

2/14 時点において、拠点等事業の事前登録者数は 1 件、事前登録に係る相談件数は 10 件、その他のコーディネーター業務件数は 42 件であった。短期入所の定員超過利用による協力事業者数は 6 事業所となった。今後は、制度の周知や対象者の掘り起こしのため、重度障害者の当事者団体や通所系の障害福祉サービス事業所への事業説明の実施、リモートを活用した事業説明や当事者団体の会報への掲載依頼など、周知方法の工夫を行っていく。

・資料 2「事前登録シート(登録事例)」を説明。

拠点等事業の事前登録に至った対象者 1 名について、資料 2 を用いて基本情報や緊急時の受け入れ先等について説明。

・部会員からの質疑や意見…無し

③ 基幹相談支援センター事業所訪問について

・令和 3 年 10 月より特定相談支援事業所を訪問し、個々での困り感を把握している。2 月 21 日現在 8 事業所(らぼーる、いっ歩、りりーふ、自立センター、ハート釧路、つばさ、いんくる、あいけあ)を訪問。今年度は 3 事業所を訪問する予定。来年度も引き続き訪問を予定。

・部会員からの質疑や意見…無し

(2)協議事項

役員改選について(グループワーク)

・山本副部会長より…役員役割や体制について

次年度から専門部会は部会員が主体となり自主的に運営していく流れになった。役員役割として、役員会の設定(日程・会場・議題・進行の形など)、部会で使用する資料・案内文の作成、周知、部会開催、振り返り、次の部会に向けて…のサイクルが基本的な動きとなる。

・事務局より…グループワークで検討する議題について

検討内容…①相談支援部会の体制について

②役員等選出方法について

検討方法…ブレイクアウトルーム(Zoom 機能)

議 事 内 容

～各グループの検討結果について～

Aグループ

①相談支援部会の体制について

- ・意欲的な方をお願いをするのが良い。
- ・役割について、今までどんな動きをしていたのか、イメージがつかない。もう少し情報が欲しい。部会の頻度など見通しがあれば協力する事が出来るかもしれない。

②役員選出方法への意見

- ・他薦について、事前に推薦したい方に伺いを立てるのは必要。

Bグループ

①相談支援部会の体制について

- ・部会ごとにチーム分けをし、運営していく。部会長、副部会長は変わらず、シーズンごとに数名のお手伝いは入れ替わり全員が役割に携わる事で部会の仕事内容が把握する事ができ、サポートする事が出来る。
- ・協議会のための義務的なものになってしまっているため、意味のある部会にする為に、当事者を招いて困難事例ケース等チームで掘り下げて考えていき実践的な内容にしていく。

②役員選出方法への意見

- ・自主的に挙手する方がいない場合、自薦・他薦・任期を決めて順番に行う事になるのでは。
- ・児童を専門的に仕事をしている相談員など知識や経験のかたよりの兼ね合いが出てきて誰でも任せてよいとならないのではないかと(協力してもらえる環境や、周りの支えがあればクリアできるのではないかと)。まわりの協力がどれだけ得られるかがポイントになってくると考える。

Cグループ

①相談支援部会の体制について

- ・役割について、年間のスケジュール等が明確であると教えてもらうとイメージが見えてくる。
- ・情報量が足りないため、役員数や協力員の有無の見当が難しい。
- ・部会のメンバーも増えている中の意見の吸い上げる機能が十分ではない、部会員の意見が吸いあげやすいシステムになればよい。

②役員選出方法への意見

- ・持ち回りでもアマダくじでもよいのではないかと。
- ・ただ、経験が浅い方が役員になる事もあるので、周囲がサポートできる体制、役員をサポートできる体制が構築できれば持ち回り等でもよいのではないかと。
- ・忖度が強い事業所でない方がよい

Dグループ

①相談支援部会の体制について

- ・今までの事務局の機能を継続する為には全体での協力が必要。
- ・事務局の動きについてイメージがつきにくい。(マニュアル等を作成)
- ・部会員全体で支え合う。ただ、各事業所で所属人数が違うのでそこはバランスを考える。

②役員選出方法への意見

- ・基本は自薦・他薦が良いが、誰もいないなら引き受けますよという方がいれば候補として見ても良い。

議 事 内 容

Eグループ

①相談支援部会の体制について

- ・役員数…部会長 1 名、副部会長 2 名+協力員 2 名程度？
業務内容が分からないため予想が難しい。
- ・役員体制…毎月 2 事業所にサポート入ってもらうのはどうか。

☆課題…

- ・役員任せ、他人事になってしまっている。協力員は固定してしまうと、協力員になった人の負担になってしまいうため、事業所ごとに持ち回ったほうが部会として全体に意識付けができるのではないかと。それに伴って、部会員の意見も取り入れやすいのではないかと。
- ・事務局を市役所に任せきりにしてしまうと市側の悩みが多く出てしまい偏ったものになってしまうのではないかと。

②役員選出方法への意見

- ・自薦、他薦
- ・前任者の推薦
- ・現任の役員の人+協力員でもう一年役員を行なってもらい、引継。

部会長より

- ・来年度部会の業務に関しては、まだ何も決まっていない。各部会によって違う。
- ・持ち回りについては、現実的な問題がある。(事業所の人数や相談員の経験値等)
- ・出来れば、全部会員が何らかの役割になるのが理想。
- ・意見の吸い上げについては、まずは部会に参加してもらわないと意見の吸い上げは出来ない。
- ・部会全体の構成等を具体的に検討して、部会員に示していきたい。

(3)その他

相談支援事業所あいけあより

- ・3 月末をもって事業所の閉鎖。
- ・平間氏が 4 月より独立し、新たな相談支援事業所を立ち上げる

以上